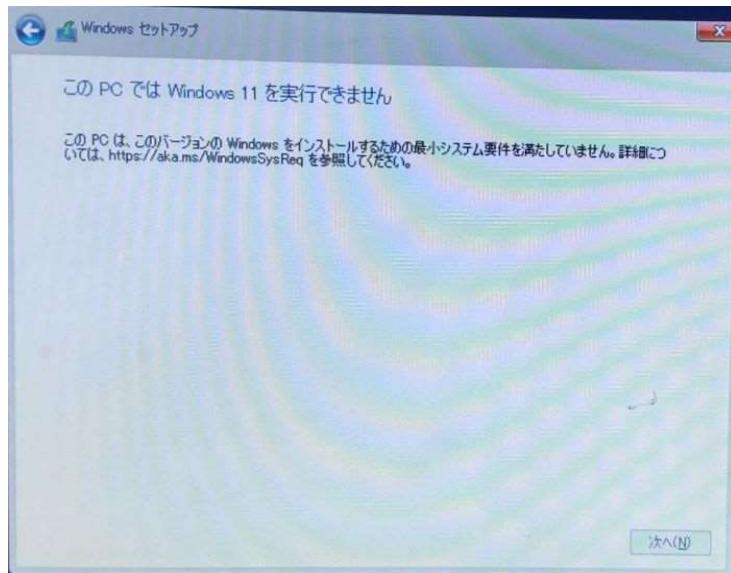


# システム要件を満足しないPCへのWindows11インストール法

2021年11月24日 JA4GII

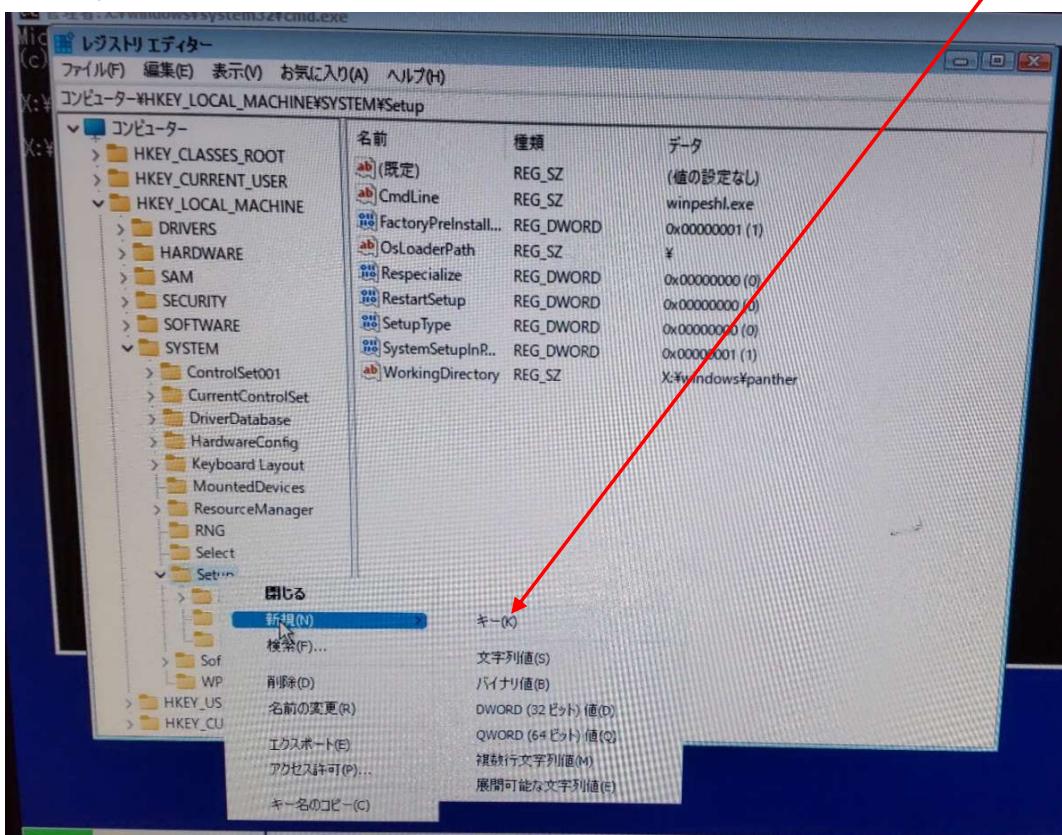
インストール時にシステム要件チェックを無視（パス）するようにレジストリーを編集してインストールに支障をきたさないようにする。メモリー（RAM）の要件は4GB以上であり、2GBでもインスト可能にパスすることも出来るが、流石にWindows11で4GB以下では実用とならないだろうから、メモリーパスは不要。

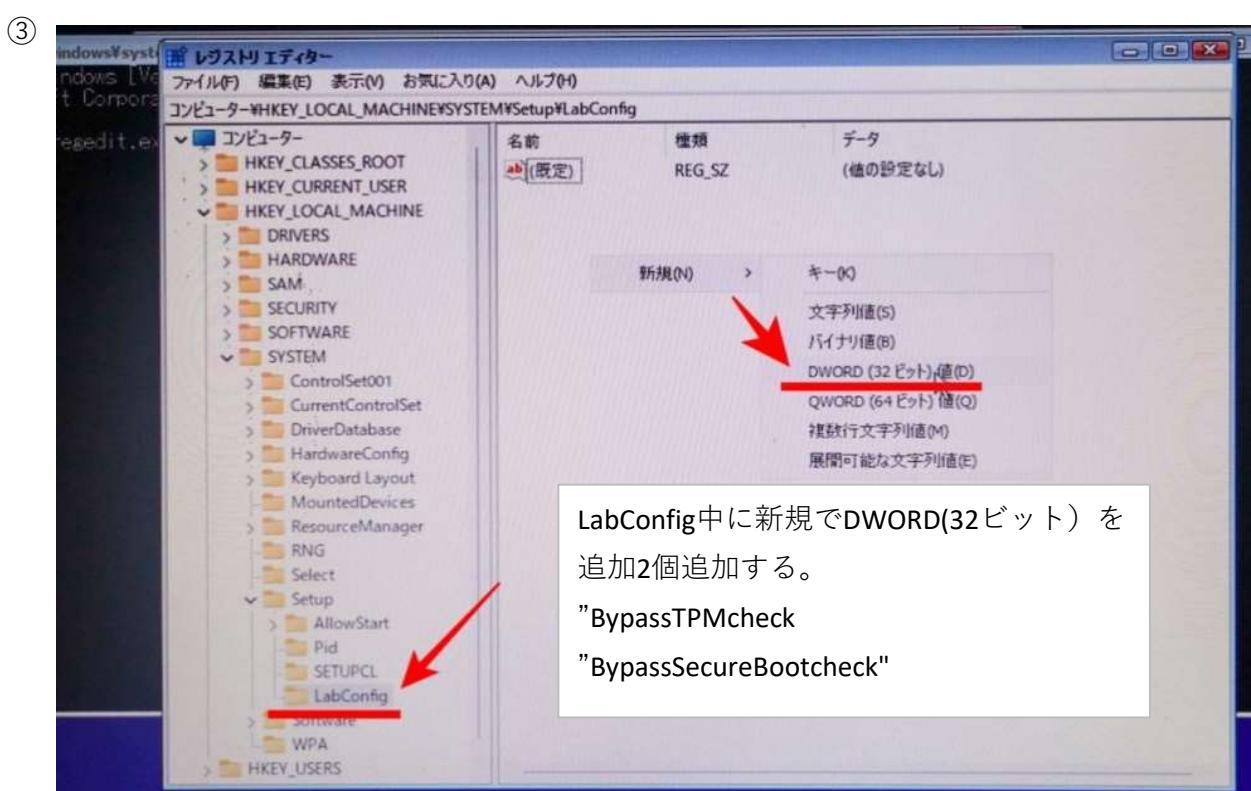
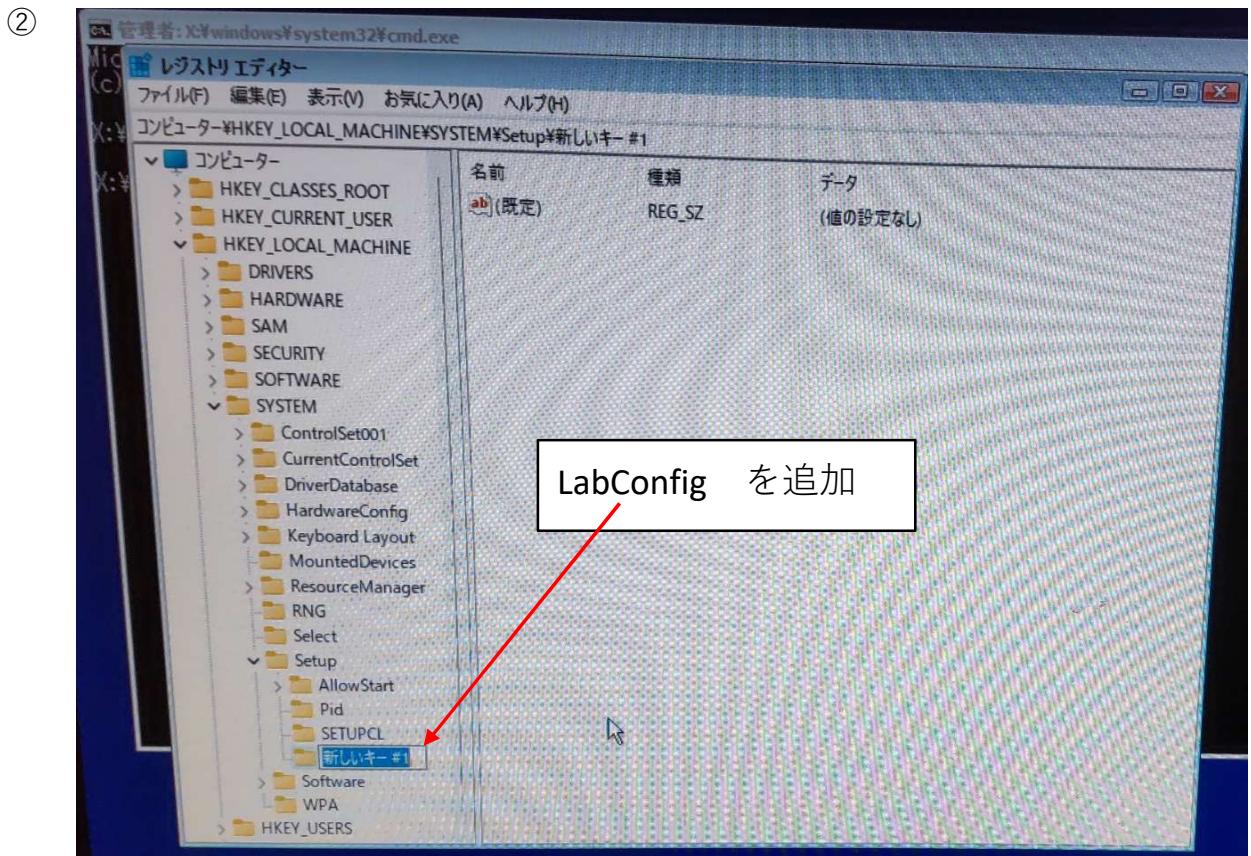
1) インストール中に下記画面となったら



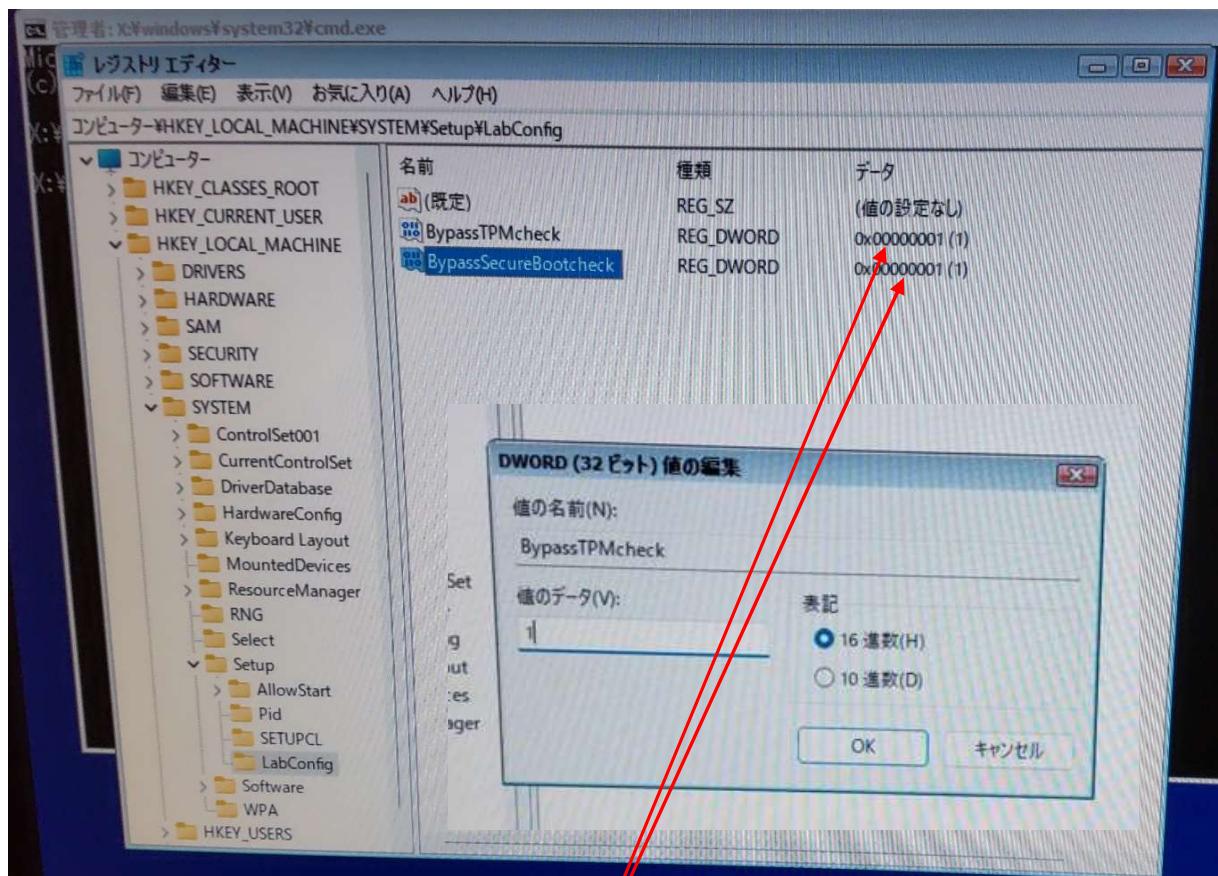
2) "Shiftキー" +"F10キー"を押して、コマンドプロンプト入力モードにし"regedit.exe"を実行。

- ① <HKEY\_LOCAL\_MACHINE>-<SYSTEM>-<SETUP>このSETUP中に新規キー名を追加する



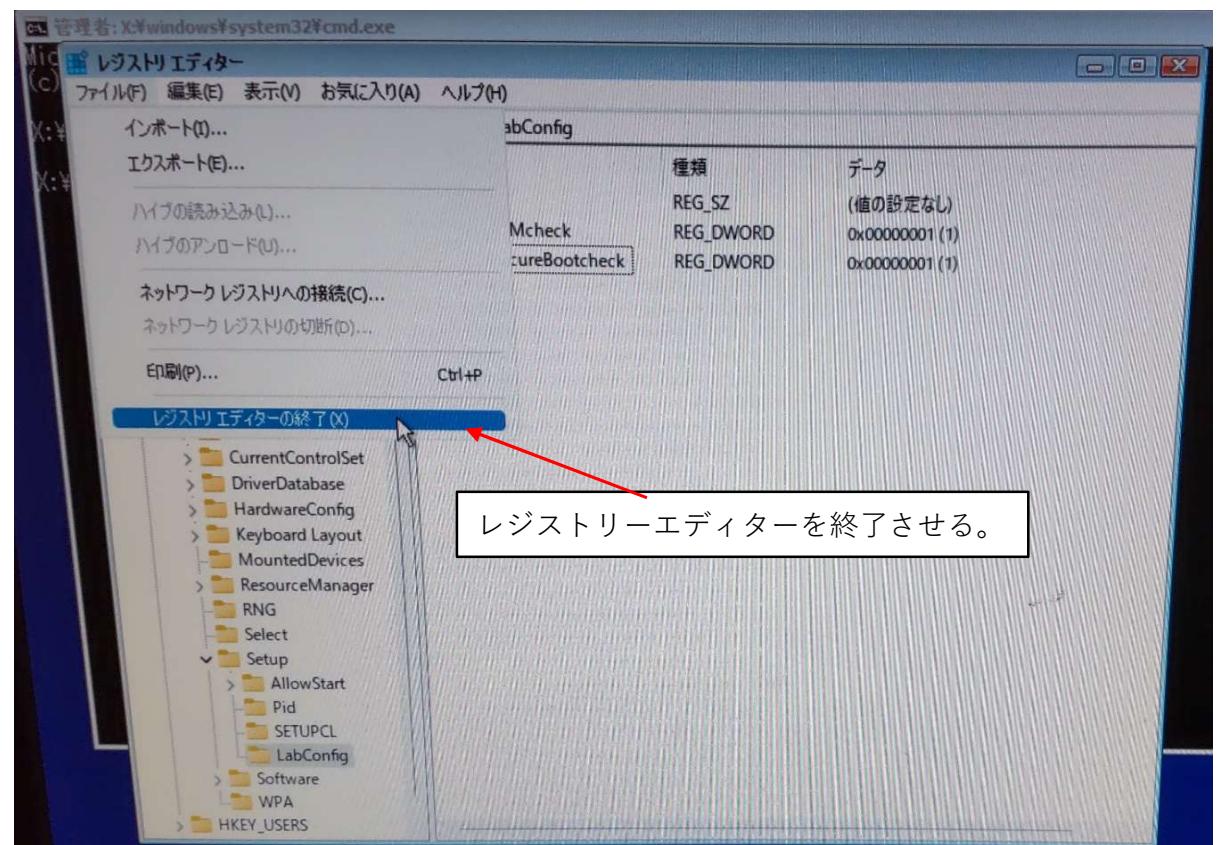


④

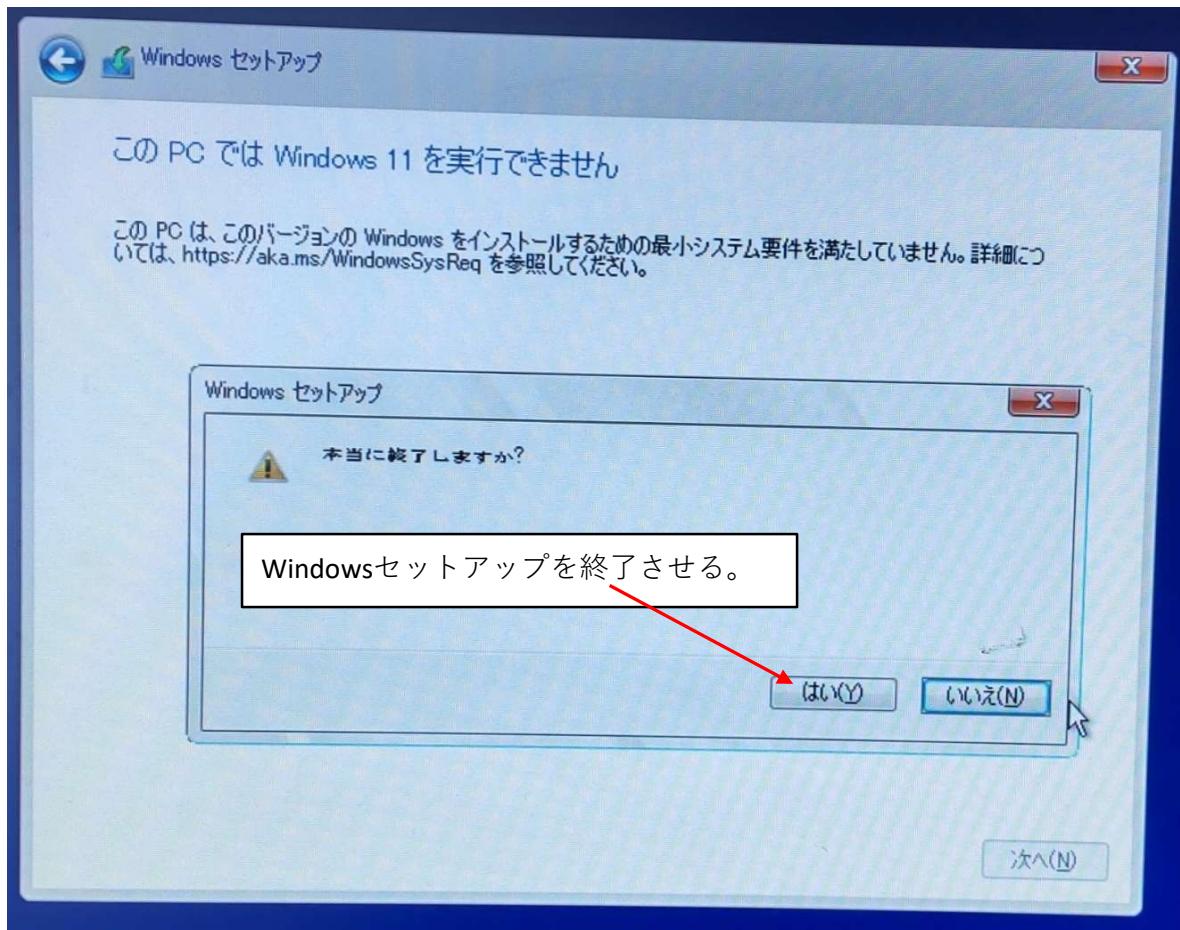


それぞれの値を0→1に変更する。

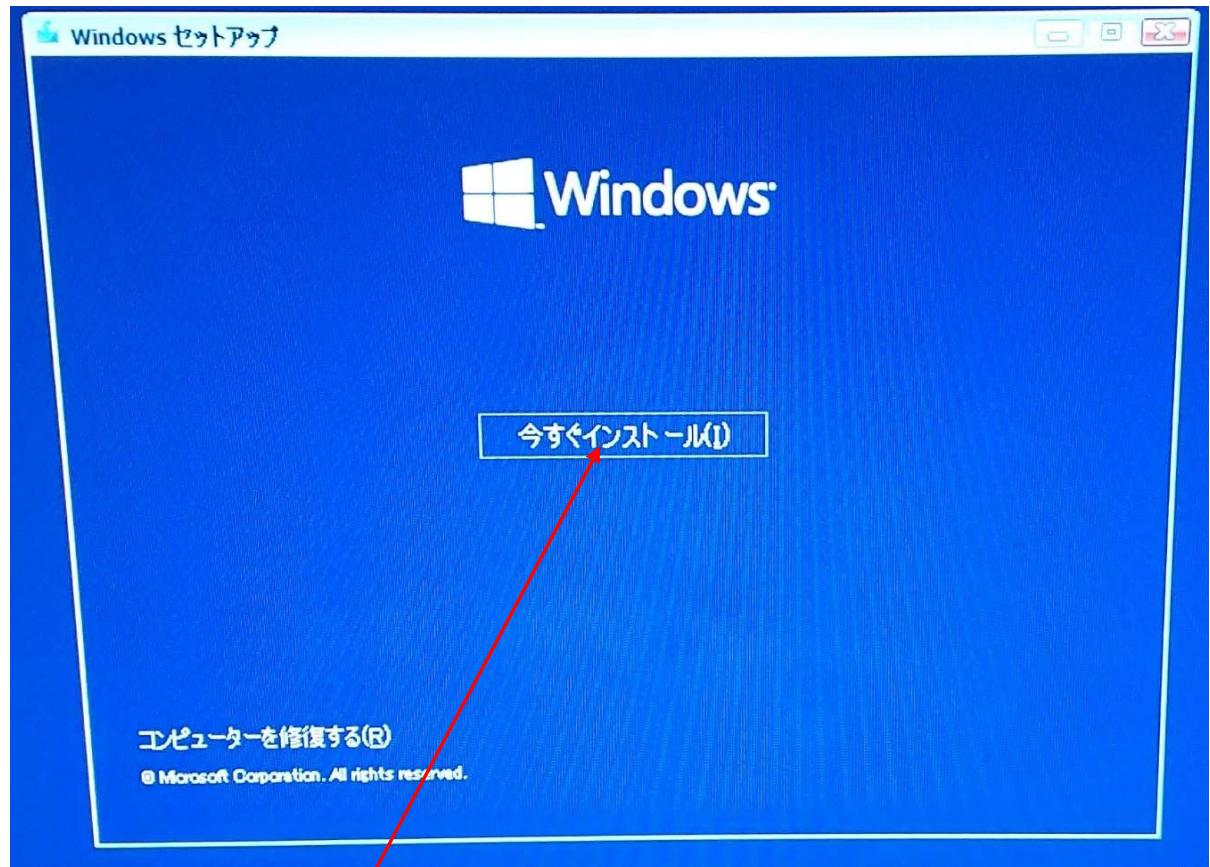
⑤



⑥



⑦



今すぐインストールを行う。

3) すると、今度は”このPCではインストールは出来ません”画面は出てきません。正常にインストールしていきます。前半工程はかなり時間を要した気がする。

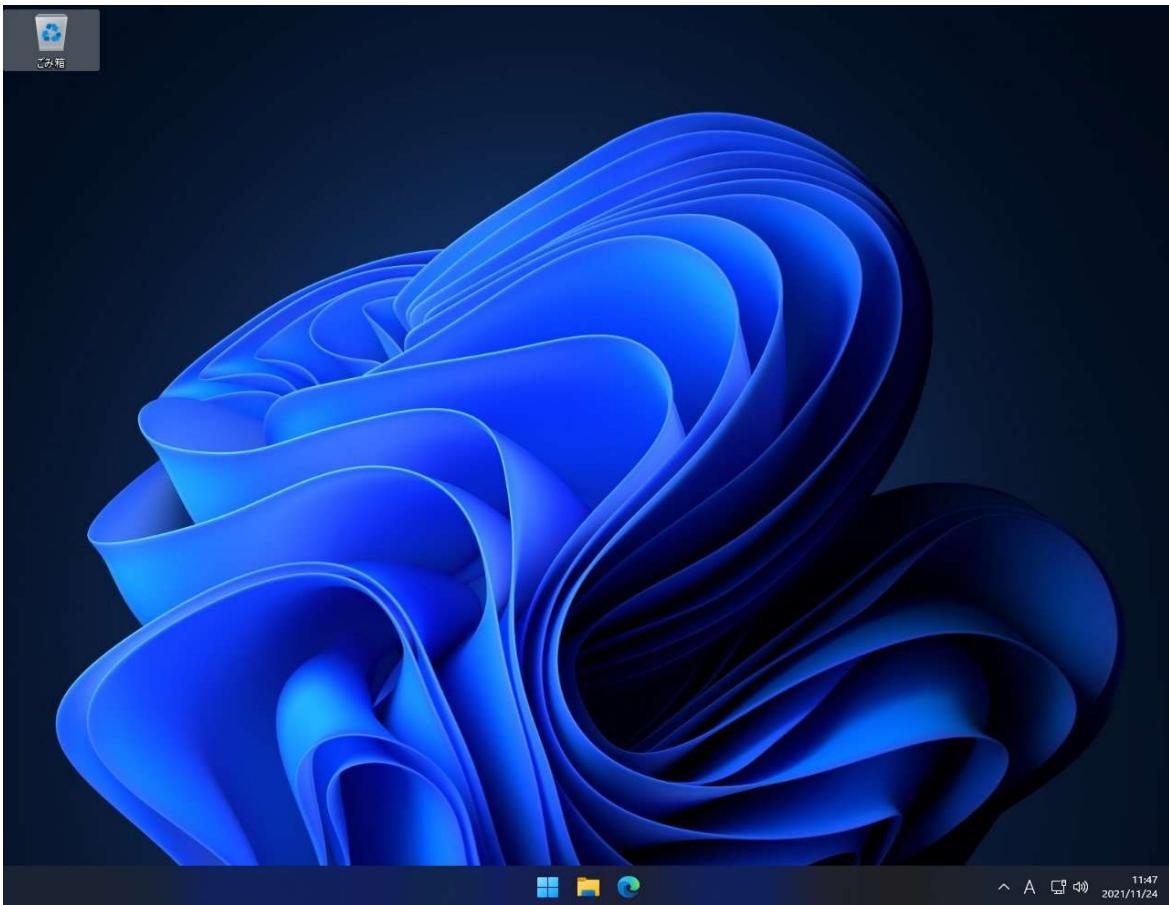
①



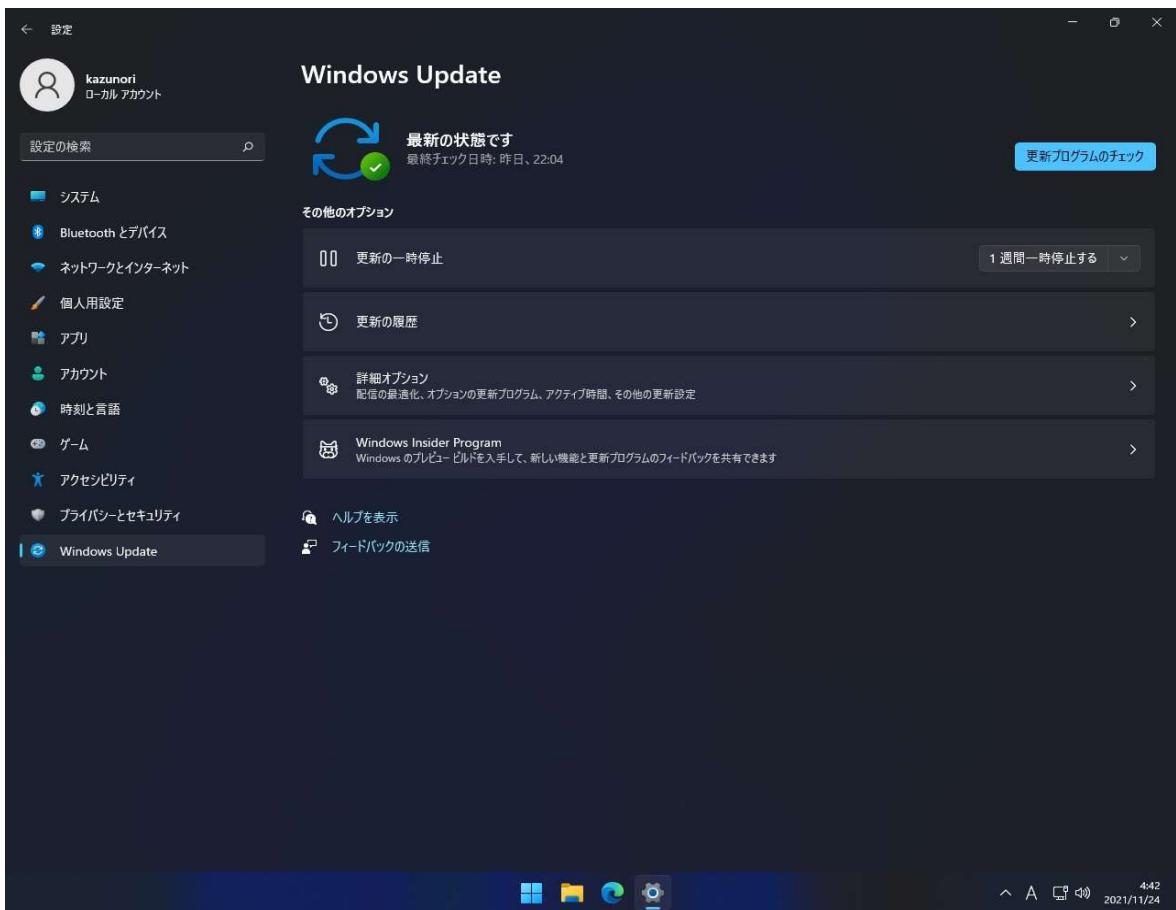
② 途中過程



③ インストール完了



④ 更新を行い最終状態

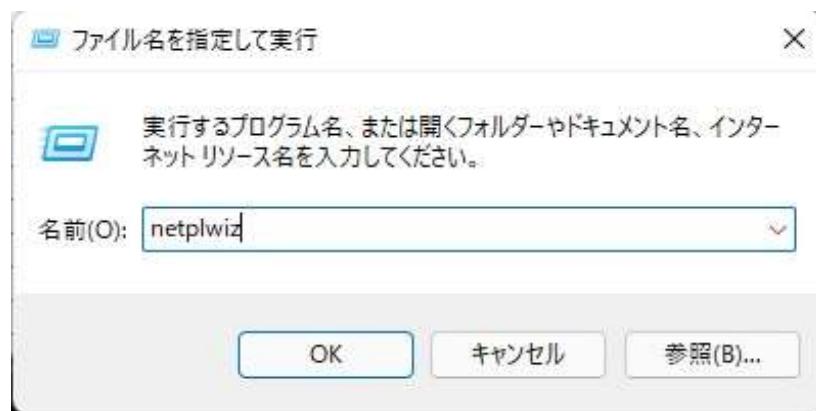


- ⑤ システム情報を確認するとWindows11-Pro、バージョン/ビルドNOも最終状態。



- 4) インストール終了後、毎度、行う作業が幾つかある。

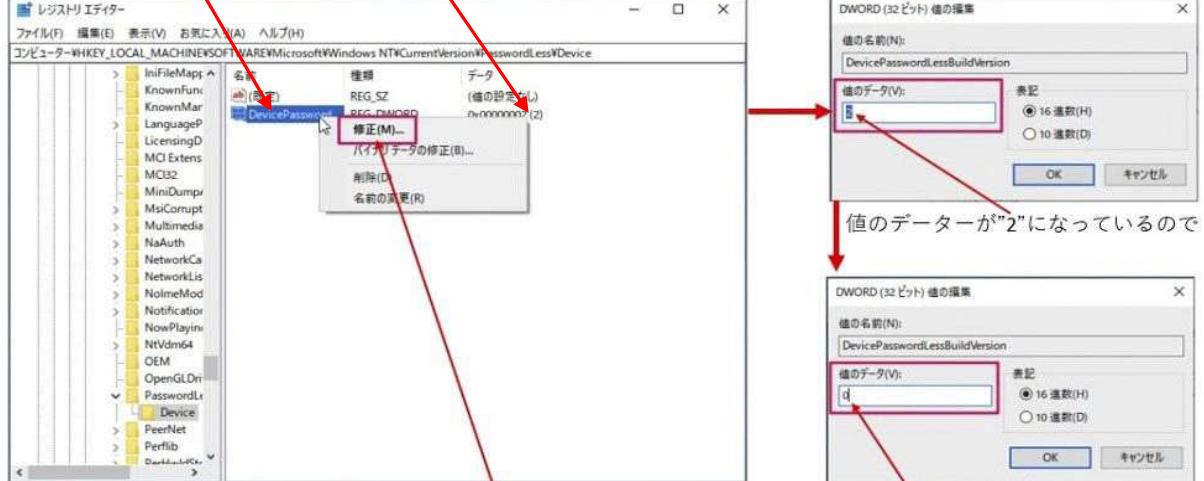
- ① PCのアカウントに対するパスワードはネットワーク等、幾つかの機能は設定されていないと動作出来ない機能がある、そこで設定はしているが、すると起動の度にアカウントログイン時にパスワード入力を要求してくる。これを入力しないで自動でログイン出来るよう設定出来るが最近のバージョンでは、そのままでは設定出来ないようになっている。”ファイル名を指定して実行”で”netplwiz”と入れて実行すると



ここが出てこないため、チェックが外せない。デフォルトではチェック入となっている。



- ② そのため、ここを出すためにレジストリーを編集する必要がある。コマンドプロンプト入力で"regedit"と入力し実行させる。これは以前にも報告したことがあるが、毎回調べたりしているので、ここへ整理しておく。
- 編集するためのレジストリーの位置 <HKEY\_LOCAL\_MACHINE>-<SOFTWARE>-<Microsoft>-<Windows NT>-<Currentversion>-<PasswordLess>-<Device>



このようにメニューが表示されるので、"修正"をクリック。

値を"0"に修正

- ③ 再度、①を実行すると出てくるのでチェックを外す。
- 5) その他、種々の設定は個々に異なるため必要な設定をすること。